

優秀賞

## 親切をするのに言語の壁なんて存在しない

栃木県 佐野日本大学中等教育学校 三年  
清水 聖乃

親切をするのに、言語の壁なんて存在しない。次の経験から、私はそのことを学んだ。

中学生になり、私は小学校の頃よりも電車を使う機会が増えた。東京など遠くに行くこともあり、外国の方をはじめ老若男女が電車に乗ってくる。

ある日、いつも通り友達と電車に乗ったとき、足が不自由な初老の女性が乗ってきた。電車はもう空席がないほどに混雑していて、優先席でさえも埋まっていた。一駅一駅の区間は短いものの、女性は電車の揺れに耐えられるほどの余裕もない様子だった。

私や友達、電車に乗っている人たちもなかなか「ここに座ってください」などと言う勇気がなかった。そんな中、二人組の外国の方が座席を立ち、女性に話しかけた。

「Please sit here, if you like! It,s okay, We,re getting off at the next station!

(よかったらここに座ってください。大丈夫、私たちは次の駅で降ります。)」

女性は少し間をあけ、驚いた様子で、「Thank you.」と返していた。

私はその様子を見て、とてもカッコいいと思った。大きな勇気のいる行動だが、女性を心配する気持ちでこのようにすてきな行動が起こせたのだろう。

それから間もなく次の駅になり、外国の方たちは電車を降りていった。電車の中はさっきの件でザワザワとしていて、私も友達と「すごくカッコよかったよね。」などと話し、非常に盛り上がった。

私たちは、たまたま席を譲られた女性と降りる駅が同じだった。私たちが降りた駅のホームはエスカレーターではなく、階段のみのホームだったため、同じ駅で降りたその女性のことが気になり、私は友達に、「少し待っていて」と伝えて様子を見に行くことにした。

すると、女性はとても困った表情で階段を見つめていた。そのとき、私はとっさに声をかけた。

「おばあさん！その荷物持つの手伝います。」

すると女性は、

「あら。ありがとうね。今日は本当にいい日だわ。私は生まれつき足が不自由なこともあって、電車にとっても苦手意識があったの。でもね、今日は外国の方や、あなたが気にかけてくれて、電車がとてもすてきなものに思えたわ。」

という言葉してくれた。私は彼女のこの言葉を聞き、手伝えてよかった、と改めて思った。電車の中では積極的に声をかけることができなかったが、最終的に女性の役に立てて本当によかったと思った。

今回のこの行動は勇気や優しさがないと、とてもできない行動だ。まして、言語がうまく伝わらない可能性もあった中で、お手本のような行動をとった外国の方を、私も含めその電車に乗っていた人たちは心から尊敬しているに違いない。

「どうせ言っても伝わらない」「わからなくて相手を困らせてしまう」などと、言葉をかける前からあきらめてしまっはいけない。人を思いやる行動に、言語の壁など存在しないと気づくことができた。